

令和5年度
奈良市議会と奈良大学ワークショップ報告書



奈良市議会

目 次

I. ワークショップの概要	2
II. ワークショップの内容	
第1回	4
第2回	6
総務委員会	6
観光文教委員会	7
厚生消防委員会	8
市民環境委員会	8
建設企業委員会	9
第3回	10
総務委員会	10
観光文教委員会	11
厚生消防委員会	11
市民環境委員会	11
建設企業委員会	12
総括	12

I. ワークショップの概要

◆目的

○市議会として

大学生に市議会の役割に対して関心や興味を持っていただき、地方政治をより身近に感じてもらうための各種機会を提供し、奈良市の未来を担う人材育成につなげていくこと。

○大学として

「リサーチオリエンテッドの精神の下、現実の問題にアプローチするために、自ら問題を発見し、解決していくため必要な、姿勢と技術を身に付けること」という大きな目標の下、学生たちが市政や地域社会への理解と関心を深めるとともに、今住む地域の様々な課題への具体的なアプローチ法、解決のための考え方、政策決定など、地域の中で実際活躍されている方々から学ぶこと。

◆開催日

令和5年11月20日、令和6年1月15日、1月22日

◆時間

大学の授業時間枠 月曜日14時40分～16時10分（90分間）

◆参加議員

・大学連携推進チーム

九里 雄二副議長

横井 雄一議会運営委員長

樋口 清二郎議会運営副委員長

- | | | |
|----------|-----------|------------|
| ・総務委員会 | 伊藤 剛委員長 | 阪本 美知子副委員長 |
| ・観光文教委員会 | 鍵田 美智子委員長 | 岡本 誠至副委員長 |
| ・厚生消防委員会 | 道端 孝治委員長 | 榊井 隆志副委員長 |
| ・市民環境委員会 | 山本 直子委員長 | 岡田 浩徳副委員長 |
| ・建設企業委員会 | 松石 聖一委員長 | 榎本 博一副委員長 |

◆参加学生

社会学部総合社会学科1年生

【第1回】38名 【第2回】44名 【第3回】34名

◆内容

【第1回】11月20日

横井委員長の講義 テーマ「市政についての理解、市議会の概要」

【第2回】1月15日

常任委員会別ワークショップ・意見交換

【第3回】1月22日

常任委員会別ワークショップについての学生の発表及び議員の講評

◆委員会別テーマ

○総務委員会

- ・総務委員会が所管している内容
- ・選挙について～政治に関心を持つために
- ・地方公務員は魅力的か

○観光文教委員会

- ・私達が学校現場でできること

○厚生消防委員会

- ・どんな福祉制度があったらいいと思いますか

○市民環境委員会

- ・奈良市の環境問題＜みんなで考えようごみの減量＞

○建設企業委員会

- ・まちづくりに住民要望をどう生かし、どう反映させるのか

Ⅱ. ワークショップの内容

第1回（11月20日）横井委員長の講義

◆講義の内容

テーマ「市政についての理解、市議会の概要」

①はじめに

- ・ 自己紹介（生い立ち～経歴、奈良市議会での活動・役職歴）

②法改正について

- ・ 令和5年4月26日の地方自治法改正について

③市政について

- ・ 市議会とは一体何なのか
- ・ 市議会の構成や仕事内容
- ・ 市議会の仕組み、1年の流れ

④委員会の概要

- ・ 五つの常任委員会の概要紹介と次回のワークショップでのテーマについて
- ・ その他の委員会の紹介

⑤政治と選挙について

- ・ 投票行動の大切さについて

◆議員の感想、その他

- ・ 受講生が18歳、19歳の方々だったので、「市議会」「政治」「選挙」といった関心が持ちにくい講義内容だったと、話していて感じた。
- ・ 講義に引き込むような仕掛け（呼び掛け）を考えて取り入れたが、更に引き込むには講義スキルを磨く必要があると感じた。
- ・ 奈良市議会を紹介できる「動画」があれば、講義で有効に生かせると思った。

◆学生の感想

①初めて知ったこと

- ・ 地方の市議会での仕事、国会と市議会の違い。
- ・ 具体的な議会の内容。市議会の年間の流れ。
- ・ 大まかな市議会の仕事しか知らなかったけど詳しく分かった。
- ・ 定例会が年に4回だけということを知り、驚いたが、期間が2週間～1か月程度と想像以上に長くて更に驚いた。
- ・ 地方自治法の改正が今年あったこと。
- ・ 法改正の趣旨、奈良市議会の仕組み、市議会の仕事内容、市政の課題例。
- ・ 民間企業に勤めながら市議会議員になれること。
- ・ 政治と私たちの近さ。

②最も関心を持ったこと

- ・市長と議員が普段何をしているのか。
- ・奈良市議会の構成、仕事。
- ・議会でどのようなことをしているのか。
- ・議会で無所属でいることは、個人で活動しなければならない分、大変ではないのだろうか（他にも議会で意見が通りづらい等）。
- ・会社員が立候補しやすい制度、若者、女性、育児・介護に携わる人も議会に参画できるように環境整備が進んでいること。
- ・政治、選挙に対する関心。若年層が少数派→意見が反映されづらい。
- ・若い世代が選挙に参加する人数が少ないこと。もっと若い世代が行かないといけないと思った。
- ・今まで政治に関しては興味を持たなかったが、私たちの生活にも関わってくるものなので、今回の講義で政治にもう少し目を向けてみようと思った。選挙に参加はしたことがなかったので次回機会があれば、選挙にも参加しようと思う。

③質問してみたいこと

- ・仕事で一番大変なことや、やりがいを感じることは何か。
- ・一番やりがいのあった委員会はどこか。
- ・一番達成感が感じられた仕事は。
- ・市議会の仕組みは奈良以外にも県によってルールが異なるのか。
- ・本業と市議会議員の仕事をどのように両立しているのか。
- ・議員とプライベートのバランスをどのようにしているのか。
- ・奈良の議員の年収はどれくらいか。
- ・奈良で行っている若い人たちの投票率を上げる政策。
- ・女性が議会へ参画できるようにするため、どのような取組が必要と思われるか。
- ・奈良市の道路事情や道路整備率について、定期代の補助について（高校生、大学生）、一人暮らしの大学生の住宅補助について等。



第2回（1月15日）常任委員会別ワークショップ・意見交換

○講師・委員会の紹介（樋口副委員長）

始めに樋口副委員長から出席議員と委員会の紹介を行った。



○総務委員会（伊藤委員長、阪本副委員長）

◆テーマ 総務委員会が所管している内容

選挙について～政治に関心を持つために
地方公務員は魅力的か

◆内容

- ・スウェーデンの若者の投票率が高い背景にある学校教育に注目し、小学校社会科の教科書を紹介した。「国の権力を持っているのは誰か」の問い掛けから始まっている。
- ・中学生、高校生が総選挙の時期に学校で模擬選挙を実施することも投票へのハードルを下げる一つの方法である。
- ・投票率を上げる方法について意見を出してもらった。
- ・高校生のなりたい職業ランキングで男女とも1位の「公務員」について、どんな仕事をしているか等について触れた。

◆学生からの意見等

- ・投票率を上げる方法として、「大学を投票所にする事」、「オンライン投票」を求める声が多かった。

◆議員の感想、その他

- ・事前学習でたくさん質問事項や意見が出されているが、（例：どんな仕事をしているか、なぜ議員になったか等）どう扱えばいいのか、事前の説明があった方が良かった。



○観光文教委員会（鍵田委員長、岡本副委員長）

◆テーマ 私達が学校現場でできること

◆内容

- ・今の学校現場における働き方改革の必要性について順を追って説明し、その中で大学生が教育現場に関われる取組の一つである「学校サポート事業」について紹介し、より自分たちが教育現場に携わるためには、どのような事業であれば積極的に関わることができるのかについて意見を出し合った。

◆学生からの意見等

- ・そもそも事業自体の認知がなされていないという意見が大半で、周知を行うためにはどのような取組を行えばいいか。
- ・また、事業に関しても教員を志すという文言があることで応募に覚悟がいる。そして、費用に関しても全て自費なので関わりにくいという声もあった。

◆議員の感想、その他

- ・二つのグループに分かれて意見交換を行ったが、意見が活発に出ており、事業に対する関わり方や率直な感想など、学生目線で具体的にそれぞれが自分の考えを発表できていた。次回の発表に向けた内容を決めかねているようだったので、少し助言もさせていただいた。



○厚生消防委員会（道端委員長、榊井副委員長）

◆テーマ どんな福祉制度があったらいいと思いますか

◆内容

- ・福祉の定義と現在の社会福祉の制度の抜粋を説明した後、我々の方から今後の福祉制度の在り方、維持、課題等を学生から意見や考えを聞き、改めて、問題提起をした。

◆学生からの意見等

- ・それぞれの福祉制度の必要性の度合い、少子高齢化への不安、多発する児童虐待問題等の意見が出た。

◆議員の感想、その他

- ・少子高齢化による自身世代以降の負担に対する懸念や、これからの自身の身内への介護についてなど、近い将来に確実に直面する自分事としての問題意識が強く、積極的に意見が交わされた。



○市民環境委員会（山本委員長、岡田副委員長）

◆テーマ 奈良市の環境問題＜みんなで考えようごみの減量＞

◆内容

- ・市民環境委員会の所管について
- ・ワークショップ
 - ①ゴミのイメージは？
 - ②出されたゴミはどうなる？
 - ③ゴミ処理と環境問題の関係は？
 - ④ゴミを減らす工夫は？
 - ⑤奈良市が取り組んでいる環境施策

◆学生からの意見等

- ・リサイクル等に関してはあまりイメージが浮かばない。
- ・他市から通っており、家と学校の往復ではあまりゴミが問題であると意識していな

い。

- ・ゴミを減らす工夫の一番身近にできることは「モノを買わないこと」だ。

◆議員の感想、その他

- ・ワークショップにもあまり慣れていない面もあったのか、意見が出にくい状況もあった。
- ・少人数のグループに対して留学生の方もいらして、コミュニケーションの取り方が難しかった。
- ・もっとしっかりアイスブレイク等で話し合う環境づくりをして、本題に入る工夫も必要であると感じた。



○建設企業委員会（松石委員長、榎本副委員長）

- ◆テーマ まちづくりに住民要望をどう生かし、どう反映させるのか

◆内容

- ・都市計画道路について
- ・能登半島地震への対応について
- ・意見交換及び質疑応答

いずれもテーマを踏まえて行ったもの

◆学生からの意見等

道路行政並びに交通政策について

- ・市内の道路が損傷している
- ・歩道が狭い箇所が多い
- ・バスの本数が少ない
- ・渋滞する箇所が多い など

◆議員の感想、その他

- ・学生は最初、緊張されている様子であったが講義後に意見交換及び質疑応答を行うにつれ、様々な意見を口にするようになった、少しずつ本音を引き出すことができたのではないかと感じた。



第3回（1月22日）常任委員会別ワークショップについての学生の発表及び議員の講評

○総務委員会（伊藤委員長、阪本副委員長）

◆発表の内容、意見等

- ・ 次の衆議院選挙に行くか

投票に行く（3人）、行かない（2人）、分からない（1人）

- ・ 選挙に行かない理由

投票する時間がない、誰に投票していいか分からない、よく分からない、投票しても何もならない

- ・ 公務員に対するイメージは？

忙しそう、どのような仕事をしているのか分からない

- ・ 学んだこと

投票することが政治への参加になること、一人の投票が大きくなること、一人ひとりの投票により日本がより良く暮らしやすい環境になることが今回の学びですごくよく分かった。

◆議員の感想、その他

- ・ 若者の投票率を上げるため、オンラインでの投票を可能にする、大学やスーパーに投票箱を設置する、などの意見を聞いた。
- ・ 投票することにより日本がより良く暮らしやすい環境になる点を学んだ点として挙げていただいた。ワークショップの目的の一つを達成でき、大きな成果であったと思う。

○観光文教委員会（鍵田委員長、岡本副委員長）

◆発表の内容、意見等

- ・学校サポート事業の概要について少し説明した後、「少しでも報酬を出してほしい」や、「教員志望者のみで募集をかけるのではなく、間口を広げてほしい」という意見を発表された。

◆議員の感想、その他

- ・現実的なアプローチなど具体的な解決策を挙げてもらった。これを機に、教職を目指さない人でも、今の教育現場に関心を持ちながら大学生活を送っていただきたい。また、前回の意見交換で活発に意見が出たので、発表に向けて意見をまとめる時間を学校側で確保していただければと感じた。

○厚生消防委員会（道端委員長、榊井副委員長）

◆発表の内容、意見等

- ・発表の内容は、今の福祉制度の概要、少子高齢化の現状、社会保障の財源について発表の後に、子育て施策の進んでいる明石市や流山市の施策を調べてスライドにまとめていた。また、外国の進んだ事例としてフランス、デンマークの施策もまとめて発表された。
- ・学生の意見として、今後必要なことは、子供を大切にする社会通念を育てたい、子育ての交流や相談ができる場をつくる、介護を施設から在宅へ移行する、この結論を発表されていた。

◆議員の感想、その他

- ・厚生消防のグループの発表は、前回の議員のレクチャーもしっかりと反映いただき、更に自分たちで調べて、まとめた内容を追加してあり、かつ、しっかりと自分たちの意見も発表いただけた。学生とは思えない、大変すばらしい発表だった。今後も意見交換を続けさせてほしいという感想を持った。

○市民環境委員会（山本委員長、岡田副委員長）

◆発表の内容、意見等

- ・市民環境委員会の所管について
- ・ゴミの種類、分類の話
- ・ゴミの処理の仕方として、燃やすことと、ブロックにして埋め立てたりすることもある。
- ・ゴミを減らす工夫としては、リサイクルや、リユース、無駄なものは買わないといった意見が出た。
- ・奈良市が現在取り組んでいる環境の施策について

◆議員の感想、その他

- ・もっと入り込んで付き添いながら発表会を迎えるべきであると感じた。
- ・発表の内容としては、先日のワークショップの内容を網羅してしっかりまとめていると感じた。
- ・せっかくの大きな発表の場ということで、「伝える」ということを意識して発表の準備があれば、なお良かったのではと思った。

○建設企業委員会（松石委員長、榎本副委員長）

◆発表の内容、意見等

- ・第2回の1月15日の内容を受けて、そのまとめとして発表がなされた。中身は、当日の内容を踏まえ、奈良市の抱える課題をよく理解し、解決方法について学生なりの視点で提示したものであった。

◆議員の感想、その他

- ・15日の講演内容が学生の目線でまとめられていて、問題解決の糸口を探ろうと努力している姿勢を頼もしく感じた。学生の皆様には、こうした自分の意見を自分の言葉で述べる機会を重ねていくことで、日頃のふとした疑問など考えていることを広く表明できるようになってほしいと感じた。

総括

○九里副議長の講評

今回のワークショップの目的として、大学側から伺ったのは、「学生たちが市政や地域社会への理解と関心を深めるとともに、今住む地域の様々な課題への具体的なアプローチ法、解決のための考え方、そして政策決定などを私たち議員から学ぶことである」ということだった。

第1回目には横井議会運営委員長から「市政についての理解、市議会の概要」について講義を受けていただき、市議会全体の内容について、議会とはどういうものか、委員会とはどういうことをしているのかを理解していただけたと思う。

そして、第2回目は各委員会別にそれぞれの議員と意見交換をし、本日の第3回目のまとめの発表に至ったところである。

今回は1回目と2回目の間が長く、その間に事前学習もしていただいたと伺っている。

私たち議員はワークショップの目的に少しでも力になれるようにとの思いを持って、皆さんとどんなテーマについて意見交換をしようか、どうすれば意見が言いやすい雰囲気になるだろうか、などと思い巡らせながら参加した。

本日の発表を拝見すると、奈良市の政策や皆さんが住んでいる地域社会のことに少なからず関心を持っていたかと思っている。

また、私たち議員もストレートな意見、なかなか普段聞けない声を聞くことができた。

20歳前後の方々の声を聞けたことは大変貴重なことであり、市政に生かしていけるよう取り組んでいきたいと思う。

今回皆さんが得た情報や知識を生かしていただくとともに、少子高齢社会の中でこれからの社会を支えていく担い手の皆さんに期待していきたい。また、我々議員も若い皆さんの多様な意見をこれからの市政へと生かしていきたい。

今後の皆さんの学生としての学びがより深まり、有意義な学生生活を送っていただけるよう祈念し、まとめのあいさつとする。

